

令和4年3月2日
(2022年)

ロシア連邦大統領
ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下
駐日ロシア連邦大使
ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン 閣下

西宮市長
原水爆禁止西宮市協議会会長
石井 登志郎



ロシア連邦のウクライナ侵攻に対する抗議

核廃絶・軍縮への機運が国際的に高まる中、貴国が令和4年2月24日にウクライナに対し軍事侵攻を実施したこと及び貴国のウラジーミル・プーチン大統領が演説で「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ」と核兵器使用も辞さない構えを示唆したことについて、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願う平和非核都市・西宮の市民を代表して、厳重に抗議する。

世界的な軍縮に向けた大きな流れに逆行した今回の侵攻は、国際社会の平和に向けた努力を踏みにじるだけではなく、他国に対しても不安を助長し、軍備拡張や新たな核拡散を再燃させる恐れもあり大いに懸念される。

世界最初の被爆国民として、我々が「いかなる国の核実験も認めず、どのような場合も核兵器を使用せず、一切の核兵器が廃絶される」ことを切望する。

貴国が、世界平和を願う全ての人々の声に耳を傾け、1日も早く平和的に解決すること及び国際社会の一員として世界の恒久平和実現に寄与するよう要望する。